

評価の目安

- A：達成された（90%以上）
B：概ね達成された（80%以上）
C：あまり達成されていない（60%以上）
D：達成されていない（60%未満）

【基本目標Ⅱ だれもがあらゆる分野へ参画できる地域づくり】

施策の方向1 政策・方針決定の場への女性参画の拡大

施策(1) 政策・方針決定の場への女性参画促進

事業	令和7年度実施状況	評価
審議会等における女性の登用の促進 【政策推進課】（全課） 《事業内容》 男女双方の意見を取り入れることができる環境づくりに配慮し、女性の登用率向上や女性のいない審議会等をなくすことに努めるよう庁内に働きかけます。	各種審議会・委員会等に占める女性委員の割合 24.9%（令和7年4月1日現在） 総委員数：1,098人 うち女性委員数：273人 審議会数76 うち女性のいる審議会数：67（88.2%） 《評価》 各種審議会・委員会等に占める女性委員の割合は、昨年より1.5ポイント増加した。また、審議会数のうち約9割近くで女性委員の登用が実現しており、女性がいない審議会の解消に向け、着実な環境整備が進んでいる。目標達成に向け、市の幹部会議での働きかけや男女共同参画庁内連絡会議構成員に対し、今後も働きかけを続ける。 《課題》 目標達成には、現状から10ポイントの増加が必要である。幅広い分野での女性人材の発掘を行うとともに、各所管部署に対し女性委員の選定を検討するよう、一層の働きかけが必要である。	C

施策(2) 人材育成の推進

事業	令和7年度実施状況	評価
女性団体連絡協議会の連携と支援 【政策推進課】 《事業内容》 女性の活躍推進を目的に、女性団体の育成を推進し、組織の活性化を図ります。	男女共同参画の実現を目指し、女性の地位向上と住みよいまちづくりに貢献することを目的に組織されている大田原市女性団体連絡協議会の自主性を尊重しながら事業を実施し、活性化に努めた。 ○「一人ひとりが輝く大田原のつどい」 田中ひかるさん講演会（大田原市共催） 期日：令和8年1月31日（土） 場所：那須野が原ハーモニーホール 大ホール 内容：テーマ「大田原が生んだ“明治のナイチンゲール”大関和の物語」 【第1部】講演 講師：田中ひかる氏 【第2部】パネルディスカッション パネリスト：田中ひかる氏、義達祐未氏、 栃木県看護協会会長 朝野春美氏	A

	参加者：約 1,300 人 ※大田原市男女共同参画広報紙「ばらんす」第 60 号に特集記事として掲載し周知した。 ○3 市町女性団体研修交流会参加 期日：令和 7 年 9 月 5 日 場所：那須町文化センター 小ホール 内容：【第 1 部】講演会「防災士について・地震への備え」 【第 2 部】避難所設営体験および非常食試食会 【第 3 部】グループワーク「クロスロードゲーム」 講師：NPO 法人栃木県防災士会 理事長 稲葉 茂氏 参加者：49 名（大田原市女性団体連絡協議会より 20 名参加） ○大田原市人権フェスタ参加 期日：令和 7 年 11 月 29 日 場所：那須野が原ハーモニーホール小ホール 基調講演「あなたの“普通”は本当に普通？～アンコンシャス・バイアスから考える～」 講師：有限会社フェードイン 代表取締役 工藤 敬子氏 ※女性団体連絡協議会では、「無意識の思いこみについて考えよう」パネル展にて出展。 ○役員会：年間 10 回開催 《評価》 ○「一人ひとりが輝く大田原のつどい」において、「大関和」をテーマに約 1,300 人という多数の参加を得て講演会を開催できたことは、市民に強い関心を与え、女性の活躍を推進する好機となった。また、本イベントを広報紙「ばらんす」での特集記事とすることで、情報の認知度向上を図ることができた。 ○3 市町女性団体研修交流会への参加や大田原市人権フェスタへのパネル展の出展など、他団体と連携した活動を積極的に展開し、男女共同参画の理念を広く普及することができた。 《課題》 講演会等をきっかけとして、新規加入団体を確保し、組織の更なる活性化を図る。	
地域におけるリーダーの育成【政策推進課】 《事業内容》 地域の方針決定の場合への女性の参画を推進します。	○栃木県男女共同参画地域推進員 市広報紙に募集記事を掲載し、3 名から新規申請があった。 地域推進員：19 名（男性 3 名、女性 16 名） ※令和 8 年 3 月 31 日現在 ○とちぎウーマン応援塾 市広報紙、市ホームページに受講生募集の記事を掲載し周知した。また、女性団体連絡協議会にて周知した。	B

	《評価》 ○地域における人材発掘のため栃木県男女共同参画地域推進員について積極的に周知し、登録者を増やすことができた。 ○地域における女性リーダーの育成の機会として、栃木県の事業の周知に努めたが、申込みはありませんでした。今後も栃木県と連携し、女性リーダー育成講座等の周知に努める。	
	《課題》 市民全体への情報発信に加え、男女共同参画に取り組む団体やリーダー候補者に対し個別のアプローチが必要である。	

施策の方向２ 働く場における男女共同参画の推進（女性活躍推進計画）

施策（１）働きやすい職場環境の整備

事業	令和７年度実施状況	評価
雇用均等に関する周知 【商工観光課】 《事業内容》 事業主に対して、男女雇用機会均等の確保や、多様な働き方のニーズに対応した就業環境づくり等の情報を提供するなど周知に努めます。	市庁舎等に男女雇用機会均等月間ポスターの掲示やリーフレットを設置し、周知を図った。 《評価》 関係機関等の事業スケジュールに対応した周知を行った。 《課題》 対象者への効果的な情報提供を行うため、市のホームページや広報等の活用について検証する必要がある。	B
事業者に対する周知啓発 【政策推進課】 《事業内容》 女性活躍推進等に積極的に取り組む事業者に対する公共調達のインセンティブ付与を周知啓発します。	栃木県が実施する「男女生き生き企業」認定制度及び、栃木県建設工事入札参加資格の技術評価点加点制度について、市ホームページの専用ページを最新情報に更新した。 《評価》 昨年度に作成した、市ホームページの専用ページを実情に合わせて修正し、栃木県の制度と連動させた情報発信をおこなうことで、正確に最新の情報を市内事業者に提供する体制を整備した。 《課題》 事業者に対する周知啓発のため、引き続き国や県の動向を注視しながら、周知啓発する必要がある。	B
育児・介護休業制度の普及啓発 【商工観光課】 《事業内容》 男女が共に子育てや介護を担い、仕事との両立が可能となるよう市内企業に対し、育児・介護休業制度の啓発や情報の提供を行います。	市庁舎等に育児・介護休業制度の普及啓発ポスターの掲示やリーフレットを設置し、周知を図った。 《評価》 関係機関等の事業スケジュールに対応した周知を行った。 《課題》 対象者への効果的な情報提供を行うため、市のホームページや広報等の活用について検証する必要がある。	B

ハラスメント防止対策の推進 【商工観光課】 《事業内容》 セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティハラスメント等の防止に向けて、事業者や労働者及び市民に向けた広報・啓発を行います。	市庁舎等にセクハラ被害等各種ハラスメントに関する相談窓口周知のポスターの掲示やパンフレット等の設置し、周知を図った。 《評価》 関係機関等の事業スケジュールに対応した周知を行った。 《課題》 対象者への効果的な情報提供を行うため、市のホームページや広報等の活用について検証する必要がある。	B
男女共同参画推進事業者表彰の実施 【政策推進課】 《事業内容》 仕事と生活の両立支援や男女が共に働きやすい職場づくりについて、積極的に取り組む事業者を表彰することにより、男女共同参画社会の促進を図ります。	令和7年度受賞事業者 ・株式会社栃木銀行大田原支店 《評価》 男女共同参画に積極的に取り組んでいる事業者を募集し、表彰及び公表することにより、事業者の積極的取組を周知啓発することができた。市広報紙や市ホームページで事業者の取組の詳細を紹介することで、広く市民や事業者に男女共同参画の意識づけができた。 《課題》 令和7年度は1社のみの応募という結果となり、制度の周知方法等を見直す必要がある。	B

施策(2) 起業・再就職への支援

事業	令和7年度実施状況	評価
職業能力開発の周知 【商工観光課】 《事業内容》 職業訓練の各種講座や教育訓練給付制度等の支援策の情報提供に努め、求職者や在職者のスキルアップを支援します。	市広報紙に職業訓練の各種講座や教育訓練給付制度の周知のため、情報提供を行うとともに、市庁舎にセミナーポスターやリーフレットを設置し、周知を図った。 《評価》 関係機関等の事業スケジュールに対応した周知を行った。 《課題》 対象者への効果的な情報提供を行うため、市のホームページや広報等の活用について検証する必要がある。	A
再就職希望者への支援 【商工観光課】 《事業内容》 子育て中の女性等の再就職希望者に対して、合同面接会や各種支援策等の情報提供に努めます。	市庁舎に公共職業安定所や県などが実施している再就職希望者への職業訓練等のポスターやリーフレットを設置し周知を図った。 大田原公共職業安定所と共催で、12月に市内企業に就職を希望する求職者向けに合同就職面接会を本庁舎で実施した。 《評価》 関係機関等の事業スケジュールに対応した周知を行った。 《課題》 対象者への効果的な情報提供を行うため、市のホームページや広報等の活用について検証する必要がある。	A

求人開拓事業の実施 【商工観光課】 《事業内容》 大田原公共職業安定所、大田原地区雇用協会と連携し、雇用機会の維持及び就労機会の拡大を図ります。	大田原市公共職業安定所、大田原地区雇用協会と連携し、講演会や視察など各種事業を推進し、雇用機会の維持及び就職機会の拡大を図った。 大田原公共職業安定所と共催で、12月に市内企業に就職を希望する求職者向けに合同就職面接会を本庁舎で実施した。 《評価》 関係機関と連携のうえ、就労機会の拡大を目的とした合同就職説明会を実施した。 《課題》 講演会等、事業実施に係る周知について、市のホームページや広報等の活用を検証する必要がある。	A
女性起業家の育成支援 【商工観光課・政策推進課】 《事業内容》 商工団体等と連携を図り、女性起業家の育成を支援することによって性別にとられない豊かな人材の育成を図ります。	本市創業支援等事業計画の創業支援事業者である大田原商工会議所において7月に創業スクールを実施した。 また、栃木県よろず支援拠点と協力し、11月に女性のための起業交流会を実施した。 《評価》 起業を考える女性の繋がる機会を提供し、参加者同士のマッチングを支援できた。 《課題》 関係団体との連絡を密に取り、引き続き女性起業家の育成支援を推進する。	A

施策(3) 農業における男女共同参画の推進

事業	令和7年度実施状況	評価
農村女性リーダーの育成 【農政課・農業委員会】 《事業内容》 農村女性のエンパワーメントにつながる研修会等への参加を支援します。	県等が主催する研修会や情報交換会等に参加したほか、独自事業を行った。 なお、チームあゆみは女性農業委員で構成される全6名のグループである。 令和3年11月に結成された「チームあゆみ」は女性ならではの視点を生かし、各事業を展開し、地域農業の発展に寄与している。また、女性委員登用率35.3%を達成し、他市町を牽引したことが認められ、大田原市農業委員会は令和7年度農業委員会等表彰において農林水産大臣表彰を受賞した。 【本会主催独自事業】 ○期日：令和7年6月21日(土) 「はじめての農機具取り扱い講習会」 共催：那須野農業協同組合、JAなすのサービス株式会社、株式会社JAなすのアグリサポート 参加者：一般参加者21名、農業委員11名(うちチームあゆみ6名)、事務局3名 ○期日：令和7年10月25日(土) 「農業女子のつどい」 参加者：一般参加者134名、関係団体参加者49名、農業委員・農地利用最適化推進員22名(うちチームあゆみ6名)、事務局7名	A

	※独自事業開催に向けて、女性農業委員グループ「チームあゆみ」で打ち合わせを多数開催 【本会共催事業】 ○期日：令和7年5月29日（木） 「沖縄県農業会議先進地視察研修」 参加者：本市農業委員・推進委員 17 名（うちチームあゆみ 6 名）、沖縄県農業会議 30 名、事務局 8 名（本市 4 名、沖縄県 4 名） ※「チームあゆみ」事例発表 ○期日：令和7年11月6日（木） 「北海道富良野市農業委員会視察研修」 参加者：本市農業委員 9 名（うちチームあゆみ 6 名）、富良野市農業委員 10 名、事務局（本市 4 名、富良野市 1 名） ※「チームあゆみ」事例発表 【県等主催事業参加】 ○期日：令和7年5月28日（水） 「農業・農村男女共同参画研修会」 ※「チームあゆみ」事例発表 参加者：チームあゆみ 6 名、事務局 1 名 ○期日：令和7年5月30日（金） 「農業・農村男女共同参画推進研修会」 ※「チームあゆみ」事例発表 参加者：チームあゆみ 6 名、事務局 1 名 ○期日：令和7年9月10日（水） 「女性農業委員・農地利用最適化推進委員の登用に関する要請会」 参加者：会長、チームあゆみ 6 名、事務局 2 名 ○期日：令和7年10月23日（木） 「関東ブロック女性農業委員等研修会」 参加者：チームあゆみ 6 名、事務局 2 名 ○期日：令和7年12月13日（金） 「とちぎ女性農業委員の会第 17 回通常総会」 参加者：チームあゆみ 5 名、事務局 2 名 《評価》 これまでの活動内容が評価され、昨年に引き続き、令和7年度農業委員会等表彰で農林水産大臣表彰を受賞した。 今後開催される研修会等にも積極的に参加していく。また、独自事業も企画開催し、多方面から支援していく。 《課題》 独自事業を計画・開催し、多方面からサポートした。 毎年開催している「はじめての農機具取り扱い講習会」や3年ぶりに実施した「農業女子のつどい」を予定通り実施した。 また、栃木県農村会議主催の研修会や県外農業委員会の視察研修等の依頼を受け、女性委員グループ「チームあゆみ」の活動について先進事例の発表を行った。 同時に多忙になったため、東洋大学蜂巢ゼミ生との新しい事業の展開や「ハチのクリスマス」への参加を見送るなど実施できなかった事業もあった。
--	---

施策の方向3 地域社会への男女共同参画の促進

施策(1) 市民活動との連携・支援

事業	令和7年度実施状況	評価
商工会議所女性部への支援 【商工観光課】 《事業内容》 女性の力で地域を元気にするため女性経営者で組織された、大田原商工会議所女性部の活動に対して支援を行います。	大田原商工会議所を通じて支援を行った。 《評価》 商工会議所女性部が実施する事業活動の支援につながっている。 《課題》 大田原商工会議所女性部と定期的な情報交換機会を設ける必要がある。	B

施策(2) 防災活動における男女共同参画の促進

事業	令和7年度実施状況	評価
地域での防災活動への参加促進 【危機管理課】 《事業内容》 男女双方の視点で防災活動や避難所運営を行うことができるよう女性の防災活動への参画を推進します。	市が開催した防災講座は13回あり、577名の方が参加した。そのうち女性の参加者は191名であった。 《評価》 地域における防災活動の推進を図った結果、多くの参加者を得ることができ、そのうち女性の参加者は3割を占め、本事業の効果がうかがえる。 《課題》 女性と男性で災害から受ける影響や避難所でのニーズが違うことについて、相互理解を深めるため、更なる女性の参加者を集い、防災活動への参加を推進する。	B